

那覇西ロータリークラブ

国際ローター-2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2024年1月24日 週報 第2711号



那覇西ロータリークラブ年間テーマ

「親睦を深め問題意識を共有し、奉仕の心を育む」

四つのテスト

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 真実かどうか | 本日のプログラム |
| 2. みんなに公平か | 1月24日(水) |
| 3. 好意と友情を
深めるか | ・点鐘
・ロータリーソング |
| 4. みんなの為に
なるかどうか | ・日も風も星も
・会長報告
・幹事報告
・立食
・1月31日 休会 |

例会報告

第2835回(2024年1月17日) 出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
54名	34名	19名	64%	62%

欠席会員

上原、大城(博)、福重、久保、渡慶次、三浦、丸橋、小林、平尾、石垣、ジョンソン、照屋(紀)、松野下小豆澤、手束、仲程、福本、稲嶺、大城(美) 会員

ゲスト

川腰藤雄(ゲストスピーカー)
クララさん(青少年交換学生)
又吉咲恵(ホストファミリー)

金沢震災義援金

1月17日 合計¥70,000

ニコニコBOX(2024年1月17日)

合計 ¥2,000 累計¥213,000

大城純市 ドイツの留学生クララさんが日本語が話せませうよう!

1月度誕生祝い

慶佐次 操(1月15日) 崎原信一(1月18日)
中村 敦(1月22日) 松野下秀峰(1月27日)

会長 中村 敦 副会長: 慶佐次 操・三浦 勉
幹事: 比嘉芳直
例会日 毎週水曜日 12時30分
例会場 沖縄ハーバービューホテル
事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階
TEL: 861-7824 FAX: 861-7825



会長報告



連日、能登半島の地震に関する報道が続いていますが、本日1月17日は防災ボランティアの日となっています。29年前の今日、阪神淡路大震災でした。この時に、学生を中心として自主的にボランティアをするという意識が芽生えたそうです。今月RIは職業奉仕月間となっています。来週の例会時に那覇東ロータリークラブの根路銘会員より職業奉仕をテーマとした卓話をお願いしています。ロータリーの目的として、職業上高い倫理を持つこと、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識することと謳われています。例えば、第1例会で歌っています4つのテストはシカゴロータリークラブのハーバードジェイテーターさんが発案したものです。いたってシンプルな理論ですが、この概念は広く世の中の社会奉仕につながる概念であるとして国際ロータリーで訳されて今日に至っています。この4つのテストを、英語の原文で読んでみると、英文での本来の意味などを知ることができます。このような機会があってもいいのではないのでしょうか。その他の報告としては、来週の年次総会ですが、いったん延期します。また後日、ご案内させていただきます。

幹事報告

先週、欠席いたしましたので改めまして今年もよろしくおねがいたします。私事ではございますが、1月3日



に父が他界いたしました。

1月8日に家族葬という形で葬儀を行いました。ご香典、ご参列ありがとうございました。話かわりまして、那覇ロータリーが創立65周年を迎えるということで、記念例会と祝賀会を開催するとのことです。ぜひ

参加のほどお願いいたします。日時は2月20日、18時30分からを予定しています。場所はパシフィックホテル沖縄、ビジターは6000円ということです。2月は地区大会もあります。2月28日、29日となっております。シンガポールの国際大会も募集していますが、日時が5月26日、パンパシフィックシンガポールホテルとなっています。会費は4万円です。参加のほうよろしくおねがいします。サモアだよりが宮平さんから届いています。ご覧ください。能登半島の募金もよろしくお願ひします。

クララさんご挨拶



こんにちは。あけましておめでとうございます。新年早々、皆様にお会いできてうれしく思います。楽しいクリスマスも過ごされたのではと思います。大晦日はどのようにお祝いされたのでしょうか。ありがとうございます。

2分間スピーチ 上間会員

昨年はなかなか参加できませんでしたが、皆さんの元気そうな顔を拝見できてうれしく思っております。プログラム委員会で活動させていただいておりますが、新会員の皆様には積極的に卓話でご登壇ください。よろしくお願ひいたします。

2分間スピーチ 山崎会員

当社は損害保険会社ですので、保険金のお話をしたいと思います。保険ですべてを再建することはできず、生活の足しにするといった意味合いが強いので、自分の生活を早く取り戻すために保険金使うという傾向が強いようです。最近ではドローンを使って現地を調査し、いち早くお客様に保険金をお届けするといったことも行っています。

卓話 「生命保険会社の役割を超える明治安田生命から明治安田へ」

明治安田生命保険相互会社沖縄士社長 川腰藤雄様



世の中非常に便利になりました。保険もスマホですべて完結できるようになっています。保険の営業も進化しており、AIを使ってお客様にアドバイスできるようになっています。最近、当社の店舗は閉鎖しています。職員はおりますが、効率化のひとつとして店舗で

の対応はやめております。手続きはタブレットなどですぐにできるようになりました。こうなると何が起きるかという、結果として事務員の業務が無くなっています。今、事務員は何をしているかという、高度な保険金の手続きなどの対応などをしてもらっているところです。そのほかではたとえば、東北の震災などでのお見舞い訪問などがあります。震災などでは印鑑や通帳などまったく無くなってしまっている場合も多く、その中でもスムーズに、かつ速やかに保険金が支払えるよう対応しておりますが、このような場面では結局スマホなどは使えないことから、最後は人対人の対応となります。確かにネットは進んでいますが、最後のところはやはり人での対応が必要であると感じています。高齢者の保険となれば生命保険などは終身保険です。年に1回手紙を出していますが、施設に入っていたりしてほとんど戻ってきてしまいます。今では節目訪問をさせていただいて、また役所などにもご協力をいただき必ず最後まで、保険金をお支払させていただくところまで対応しておりますが、このような場面でもやはりスマホなどでは対応できず、最後は人の力が必要です。今後も我々を人を中心として活動していきたいと思ひます。また、少子高齢化、人口減少の影響は大きく、加入者の平均年齢がどんどん高くなっています。加入者が少なくなっていくなかで、当社は保険会社を超えていくという方針のもと、保険だけでは継続できないということで今回、社名から保険という文字を取りました。では今後何で食べていくかということなのですが、健康増進のお手伝いというものがあります。もうひとつが地元の元気のお手伝いということです。みなさんのところへ訪問し、なにかお役に立てないかというものです。募金だったり、人材派遣だったり地元が元気になるような活動を行っています。今後もよろしくお願ひいたします。